

平成29年9月15日 荻窪中学校学校運営協議会発行

『新年度を迎えて』

荻窪中学校学校運営協議会 会長 徳田 達介

4月1日、公立学校教職員の異動の発表がありました。荻中の教職員にも異動があり、今までお世話になった先生方が異動、新しい先生方が着任されて、荻窪中学校の29年度がスタートいたしました。

4月7日入学式が行われ、82名(男子34名、女子48名)の新入生が入学しました。入学して40日後の4月17日から2泊3日の日程でフレンドシップ・スクールへ、杉並区と友好都市、新潟県小千谷市へとバス三台で出掛けました。井荻小、桃三小、松庵小、桃四小等、異なった小学校から荻中に入学した一年生の82名が、早くコミュニケーションがとれるようにと行うもので、82名全員の参加でした。

6月3日は「運動会」でした。当日は心配したお天気も快晴

にめぐまれ、多数の地域の方々や保護者の応援をうけました。荻中の運動会の運営は、生徒会が各クラスから委員を選出し、その中から委員長を決めます。今年の運動会委員長は奥井結希さん、スローガンは「手の平に熱を・はちまきに想いを」です。5月8日に行われた全校生徒による「運動会への結団式」での話し合い通りの立派で見事な運動会でした。暑い中を最後までご観覧頂いた多くの地域、保護者の方々に厚く御礼申し上げます。

荻窪中学校は、地域の中学校として設立70周年を迎えようとしています。

迎えた29年度も、地域の多くの皆様方の益々のご指導、ご協力をお願いいたします。

『これからのCS』

校長 伊藤 陽一郎

荻中が『コミュニテ・スクール』(以下CSと略)の指定を受けて8年が経ちました。平成21年10月のスタート時は、校長を始めとして11名の学校運営協議会委員が活動をしてきました。PTA・おぎすけとの交流会、教員との意見交換会、生徒・PTAとの懇談会、CSアンケート(学校関係者評価)、17時間プログラム、また学校運営協議会だよりの発行や荻中ごよみの作成も行ってきました。そしてここ数年、「CSと教職員と顔の見える関係」づくりを「CSと教職員とが話をする関係」づくりに発展させ、荻中CSの活動が更に充実・活性化するように働きかけてきました。このような経緯から、荻中の地域運営学校の知名度は高まり、地域からの信頼も得られてきました。

平成29年9月、杉並区学校運営協議会規則が改正され、CSの指定期間が廃止となりました。2年毎の再指定手続きがなくなり、取

り消しの手続きを行うまでCSの指定が続きます。地域運営学校として力強く教育活動を展開している荻中にとっては、たいへんありがたいことです。また今回の改正に伴い、委員の任期も全員足並みが揃うことになりました。任期の終期が揃うことも、担当者の割り振りや職務の引き継ぎ等があり、活動の活性化には欠かせません。3つの部会組織の運営がやりやすくなるため、部会を充実させることによって荻中の教育活動の厚みが増していくよう、取り組んでいきたいと思います。

今年度整備した「地域活動部屋」も活用しやすいように整備され、CS・PTA・おぎすけの三者の連携が益々深まりを見せています。

今後も皆さまの厚い信頼を集めて充実発展していくよう、頑張って活動をしてまいります。どうぞよろしく願いたします。

新委員の紹介

平成29年4月より学校運営協議会委員になりました、石川尚子です。

これまで、平成16年10月から始まった土曜日学校の管理者として荻中生を見守ってまいりました。これからは、荻窪中学校が地域と共にあり、信頼される学校となるよう、学校運営に参画させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

「家庭・地域と中学生との 望ましいかわり方、PTA活動上の課題」

徳田会長の挨拶に続き、テーマ設定についての話があり、多くの発言を頂きましたのでおおよその項目にまとめてみました。



- 1 親子のコミュニケーション**

 - 上級生になると個人差もあるが、男子は親との会話が少なくなってくる。生徒会や友達、ペットの事などからの話をしてコミュニケーションをとっている。
 - 男子のお母さんは世話をやき過ぎ?
 - 親が自分の力で子どもを押さえつけず、信じて気持ちを理解する。
 - 反抗期が無かったと言う大学生もいるそうだが、必ずあるはず。
- 2 親と親のかかわり**

 - 親同士の仲が良いと子どもも自然と良くなる。
 - メンバーズがあるので参加しやすい
- 3 反抗期**

 - あまり実感していない家庭が多かったが、必ずどこかであるのが自然。自分に反抗期があったという意識のない男子生徒も多くなっている。
- 4 地域とのコミュニケーション**

 - 地域の活動に親子で参加することが少なく、近所の人と挨拶をするくらい。
 - 昔は町会の活動が多かったが、最近の若い家族は地域とのかかわりが必要としないのかも?
 - 小さい頃からの地域の活動や行事で地域の方々とかかわり、その延長で自然な形でのかかわりが続き、お年寄りのお宅からは苦情もなく防犯にも役立っていると喜ばれている。
 - 秋中の生徒は勉強でも部活でもあまりガツガツしてなくて、やさしい。

今回の懇談会を通して、CSは家庭・地域の架け橋となる使命をより強く実感しました。

PTAの役員・委員さん、先生方とCSで合わせて30名余りの皆さんにご参加を頂きました。ありがとうございました。

学校運営協議会の活動予定

- 9月 CSだより発行
- 10月 都教委、及び区教委に教職員の任用に関する意見書提出
- 11月 生徒との懇談会開催
- 1月 CS研修会開催
学校評価について報告、学校関係者評価の検討
- 2月 教育課程の編成に関する基本的な方針について協議・承認
- 3月 CSだより発行

会議日程

9/27、10/25、11/29、12/20、1/24、2/28、3/14

*会議は原則公開です。

傍聴希望者は事務局(荻窪中学校副校長)までご連絡ください。

学校生活外の生活リズムとコミュニケーション

17時間プログラム 2017

親子コミュニケーションの「扉」を開こう!

小学校第一学年から中学校第三学年までの9年間で、子どもたちは心身共に大きく成長します。全ての児童生徒が、生活のリズムを身に付け、学習効果が最大限になるよう、「学校外時間」の17時間の過ごし方を「17時間プログラム(生活リズムを整えること)」として地域ぐるみで考えましょう。

